

東日本大震災

日本赤十字社鳥取県支部の 活動報告



平成 23 年 7 月 7 日現在

医療救護 《延べ8チーム、58名派遣》

日赤DMAT隊 人数：6名（医師、看護師3、連絡調整員2）

派遣先：福島県（福島空港）

活動期間：平成23年3月12日～14日

活動内容：SCU活動、3名域外搬送

主な傷病：クラッシュ症候群3（うち下肢切断1）

その他空港内救護所にて22名診察

（狭心症発作、脱水症、気分不快、低血糖、切迫早産疑、被ばく相談等）

出勤：平成23年3月11日18：00

帰還：平成23年3月15日16：10



日赤医療救護班 第1班 人数：9名（医師、薬剤師、看護師長、看護師2、主事4）

派遣先：岩手県

活動期間：平成23年3月15日～17日

活動内容：釜石市にて救護活動、巡回診療、延べ90名診療

主な傷病：心筋梗塞、高血圧、便秘、風邪

出勤：平成23年3月14日10：30

帰還：平成23年3月18日12：30



日赤医療救護班 第2班 人数：9名（医師、薬剤師、看護師長、看護師2、主事4）

派遣先：岩手県

活動期間：平成23年3月19日～21日

活動内容：釜石市にて救護活動、巡回診療、延べ176名診療

主な傷病：高血圧、糖尿病、便秘症、洗眼、風邪、花粉症

出勤：平成23年3月18日8：00（空路）、9：25（陸路）

帰還：平成23年3月22日18：20（空路）、23日2：15（陸路）





日赤医療救護班 第3班 人数：9名(医師、薬剤師、看護師長、看護師2、主事3、防災ボランティア)

派遣先：宮城県石巻市

活動期間：平成23年3月24日～26日

活動内容：石巻赤十字病院救急外来応援、避難所巡回診療
取扱い患者数279名

主な傷病：上気道感染症、高血圧症、便通障害、腰痛・神経痛

出勤：平成23年3月23日8:00(空路)、22日12:00(陸路)

帰還：平成23年3月27日12:50



日赤医療救護班 第4班 人数：8名(医師、薬剤師、看護師長、看護師2、主事3)

派遣先：宮城県石巻市

活動期間：平成23年4月15日～17日

活動内容：石巻赤十字病院救急外来応援、ロイヤル病院滞在者(ショートステイ)へのケア

取扱い患者数17名 主な傷病：肺炎、腹痛、循環器疾患、外傷(縫合、抜糸)

出勤：平成23年4月14日8:00 帰還：平成23年4月18日12:50



日赤医療救護班 第5班 人数：6名(医師、看護師長、看護師2、主事2)

派遣先：宮城県石巻市

活動期間：平成23年4月30日～5月2日

活動内容：渡波地区避難所の救護所での診療、同地区巡回診療

取扱い患者数136名 主な傷病：高血圧、風邪、小児発熱、外科切開(臀部粉瘤)

出動：平成23年4月29日7:50 帰還：平成23年5月3日16:10



日赤医療救護班 第6班 人数：6名(医師、看護師長、看護師2、主事2)

派遣先：宮城県石巻市 活動期間：平成23年5月14日～5月17日

活動内容：渡波地区避難所の救護所での診療、同地区巡回診療及び保健指導

取扱い患者数110名

出動：平成23年5月13日8:00 帰還：平成23年5月18日12:45

日赤医療救護班 第7班 人数：5名(医師、看護師長、看護師、主事2)

派遣先：宮城県石巻市 活動期間：平成23年6月23日～26日

活動内容：ヤンマー避難所の救護所での診療 取扱い患者数23名

出動：平成23年6月22日8:00 帰還：平成23年6月26日21:20

こころのケア 《延べ3名派遣要員》

- 宮城県石巻市(門脇中学校避難所)に1名派遣【こころのケア指導者(兼)チームリーダー】

活動期間：平成23年4月29日～5月4日(出動：平成23年4月28日、帰還：平成23年5月5日)

- 宮城県石巻市(渡波地区)に2名派遣【こころのケア要員、連絡調整員】

活動期間：平成23年6月10日～14日

(出動：平成23年6月10日、帰還：平成23年6月15日)

(予定)

- 宮城県石巻市に4名派遣【こころのケア指導者1、看護師2、連絡調整員1】

活動期間：平成23年7月8日～13日



病院支援 《延べ2名派遣》

- 宮城県の石巻赤十字病院に1名派遣【事務職員(救急搬送、受入、事務補助要員)】

派遣期間：平成23年3月25日～30日

- 宮城県の石巻赤十字病院に1名派遣【看護師(看護専門学校支援要員)】

派遣期間：平成23年5月9日～14日



救援物資輸送

- 平成23年3月13日19:00

宮城県支部(山元町役場、陸上自衛隊霞目駐屯地)に毛布1,500枚送付

- 平成23年3月30日14:00

宮城県亘理町（佐藤記念体育館）に緊急セット 570、安眠セット 300 送付



防災ボランティアリーダー派遣 《延べ2名派遣》

本社要請を受け、現地防災ボランティアセンターに要員派遣。

（派遣期間：平成 23 年 4 月 10 日～17 日、派遣先：宮城県気仙沼市、1 名派遣）

（派遣期間：平成 23 年 4 月 18 日～25 日、派遣先：宮城県気仙沼市、1 名派遣）

広報支援 《1名派遣》

日本赤十字社宮城県支部に現地広報支援要員として鳥取赤十字病院事務職員 1 名派遣。

派遣期間：平成 23 年 4 月 25 日～5 月 2 日

義援金募集

取扱期間：平成 23 年 3 月 12 日～平成 23 年 9 月 30 日

鳥取県支部直扱分の金額 **4 億 9,027 万 2,448 円**（平成 23 年 7 月 6 日現在）

日赤全体 **239 万 6,023 件 2,596 億 8,602 万 5,369 円**（平成 23 年 7 月 5 日現在）

義援金配分

義援金を被災都道県に配分するため、厚生労働省の協力を得て、学識経験者、被災都道県および日本赤十字社、中央共同募金会をはじめとする義援金受付団体を構成メンバーとする「義援金配分割合決定委員会」が平成 23 年 4 月 8 日に設置。

（第 1 次配分）

「住宅全壊・全焼・流失、死亡、行方不明者は 35 万円」、「住宅半焼、半壊は 18 万円」、「原発避難指示・屋内退避指示圏域の世帯は 35 万円」を基準として、これに対象世帯・対象者数を乗じた額を各被災都道県へ送金。

（第 2 次配分）

・被害状況に応じて、義援金を按分し、被災都道県へ送金。被害状況を算出する指標（「1」、「0.5」）は、第 1 次配分と同様。（被害が判明していない分は送金を留保）

・被災都道県の配分委員会が地域の実情に併せて配分の対象や配分額を決定する。

送金状況(平成 23 年 7 月 6 日現在)

	送金額(円)
北海道	5,110,000
青森県	708,290,000
岩手県	27,130,680,000
宮城県	98,623,490,000
山形県	6,550,000
福島県	88,916,160,000
茨城県	11,504,550,000
栃木県	1,502,750,000
群馬県	3,410,000
埼玉県	88,200,000
千葉県	5,731,580,000
東京都	157,720,000
神奈川県	28,010,000
新潟県	164,860,000
長野県	112,040,000
合計	234,683,400,000

日本赤十字社 並びに 中央共同募金会は、各都道県に設置された義援金配分委員会からの依頼により、合同で義援金を送金しています。

送金された義援金は、義援金配分委員会から被災市町村へ送金され、配分対象者へ配付されることになります。

内訳：一次配分 878 億 3,544 万円、二次配分 1,468 億 4,796 万円